

講義名	経営学入門(経済学部：1年生のみ)			授業形態	
担当教員	保田 洋	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

経営学は、企業の実践的課題に対する解決策を理論的に明らかにすることが中心となる。しかし、その課題や解決策は、企業外部の経済環境の変化によって比較的短いスパンで様変わりしやすく、また、多様に存在する。そこで、本講義では、内容のポイントを絞って、体系的に学習し経営について学ぶ。

到達目標

1. 経営学の基礎知識・基礎用語を学び、経営学とはどういうものか説明できること。
2. 企業が実際にどのような方針(戦略)を立て、その方針に基づいてどのような仕組み(組織)を作り、その仕組みの中でどのように運営(管理)しているのか、という一連の経営活動の基礎基本を説明できること。

提出課題

毎回小課題を行う。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

講義の中でフィードバックする。

評価の基準

- 15回目の授業時に行う課題：40%
 - 毎回行う小課題の提出状況：40%
 - 授業時の問いに対する参加取り組み状況：20%
- 上記の内容で評価する。

履修にあたっての注意・助言他

評価方法や授業の内容は初回の授業で説明するため、履修希望者は第1回目の授業に必ず出席すること。

教科書	.1からの経営学.	加藤野忠男/吉村典久	碩学舎	2460	9784502375217
-----	-----------	------------	-----	------	---------------

参考図書

その他

必要に応じて、プリント又は教材を配布する。
参考文献は必要に応じて随時紹介する。

授業計画

1. イントロダクション / 講義の全体像・評価方法など
2. 企業経営：経営学の全体像 / 経営学という分野の地図を描く (教科書第1章・2章)
3. 企業と会社 / 株式会社の仕組み (教科書第3章)
4. 企業とインフラ / 経営資源としての資本・ヒト (教科書第4章)
5. 企業とアウトプット / 経営戦略の基本原則 (教科書第5章)
6. 競争戦略のマネジメント (1) / 基本的な考え方 (教科書第6章)
7. 競争戦略のマネジメント (2) / 違いをつくる3つの基本戦略と仕組みの競争 (教科書第7章)
8. 多角化戦略のマネジメント / 事業範囲拡大の論理 (教科書第8章)
9. 国際化のマネジメント / なぜ世界に目を向けるのか (教科書第9章)
10. マクドナルドのマネジメント / 組織設計と資源配分 (教科書第10章)
11. ミクドナルドのマネジメント / 組織行動論 (教科書第11章)
12. 人的資源のマネジメント / 組織と従業員の視点からヒトを考える (教科書第12章)
13. 経営学の広がり / ファミリービジネス、非営利組織 (教科書第13章・14章)
14. ビジネス倫理 / 企業の社会的責任 (CSR) から共有価値の創造 (CSV)へ
15. 講義全体の振り返り・まとめ

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)	イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 以下内容を重視し、毎回予習・復習として4時間を目安として取り組むこと。
- ・事前学習として、事前に次回行う内容を話すのでキーワードと思われる所を調べておくこと。
- ・毎回課題を出題するので、授業のまとめを行いながら課題に取り組むこと。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本授業を受講することで、経営の仕組みや組織行動について学ぶことで論理的思考力を身に付け、知識を知恵に転換することができるようになること。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

一方的な講義にならないように、毎回授業中に色々と質問を行う。質問に対して、スマートフォンを活用し、ディスカッションに参加すること。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
現場での具体的な事例について解説する。

備考

--